

学生のアクティビティ

第4回SCC寮祭

お茶大SCC (Students Community Commons)は、「ともに住まい、ともに成長する」をコンセプトとした学生寮です。学部1、2年生を対象としていますが、3年生のレジデント・アシスタント (RA) が寮内で行われる学生支援プログラムや寮生の活動をサポートしています。学部学科の異なる5人で1つの「ハウス」を形成し、全員が寮生組織の委員会に所属しています。



10月26日(日)には「第4回SCC寮祭」が開催されました。寮祭は毎年10月に行われるSCCの行事で、4月から寮祭実行委員会を中心に準備を進めてきました。当日は各ハウスが軽食やお菓子でおもてなし、寮生もハウス間を行き来し、来場の方たちとの会話ははずみました。

来場者と寮生によるハウス企画投票も行われました。寮祭終了後ラウンジに集まり、結果発表に臨みました。接戦の末、1位になったハウスにはケーキが送られました。

学修プログラム発表会

学修プログラムは、お茶大の教授をSCCにお招きして講演をしていただき、その後ハウス内で課題に取り組み、発表会でハウスでの学びを共有するSCC独自のプログラムです。今回は7月に生活科学部食物栄養学科の香西みどり先生に、「調理と献立」というテーマで講演をしていただきました。課題は実習形式で、和食、洋食、正月料理等5つの献立をハウスメンバーで協力して作りました。発表会では課題に取り組む様子や感想、それぞれの料理について学んだことが報告されました。



から、SCCでの寮生活のこと、大学での学びのこと、受験勉強の相談までたくさんの質問をいただき、寮生たちも熱心に答えていました。

他大学学生寮ご招待

SCCでは他大学の学生寮を訪問し、寮についての意見交換や見学を行い、SCCの運営に役立てています。今年は訪問させていただいた学生寮の教職員・寮生の方々を寮祭にご招待し、交流を続けています。

寮生より

私の暮らしているFハウスでは、かぼちゃスープを作りました。かぼちゃは裏ごして、バターと牛乳、コンソメで味付けしたシンプルなものです。ハウスメンバーに食物栄養学科の1年生がいたので、調理や味、盛り付けにいたるまで本当に頼りになりました。

寮祭前日の夜中に飾りつけをしているときは、高校の文化祭で夜遅くまでみんなで残って準備したことをふと思い出しました。まさか大学生になってもこんな青春! なことができると思わず、眠たい目をこすりながら、メンバーと同じ思い出を共有していることが嬉しくもありました。ハウス企画の考案や飾りつけまで、メンバー全員で関わることができてよかったです。

文教育学部人文科学科哲学コース 2年
草刈 沙季



女子高校生ご招待

昨年度から事前申込制で、受験を希望される女子高校生とご家族をご招待しています。今年は8組19名の方々にお願いいただきました。それぞれハウスを回りな



学修プログラムでは、羽入佐和子学長より講評をいただきました。

徽音祭によせて



去る11月8、9日の2日間、お茶の水女子大学にて徽音祭が開催されました。昨年の徽音祭、テーマは「秋は短し 弾けよ乙女 熱きお茶の冷めぬ間に -The 65th Anniversary-」。お耳になじみのあるフレーズをわたしたちらしくアレンジいたしました。

ました。短い秋を自分らしく楽しんでほしい、そんな想いを込めてつけたテーマです。学内装飾もテーマに合わせて和風一色で、皆様に好評でございました。両日を通して本当にたくさんの方に来場いただき、学生一同充実感でいっぱいです。

いつもは構内に入るために立ち止まらなければならないお茶大の門も、この2日間は来場者の皆さまに広く開放されました。そんなにぎやかな徽音祭の間、いつもと変わらず警護に当たってくださった守衛さん方から、「見回りをしようと思えば、人が多すぎて通れなかった。これほど人がいたのは初めてだよ」と嬉しいお言葉をいただきました。これも徽音祭、ひいてはお茶大に興味を持って、当日いらしてくださった来場者のみなさまのおかげです。本当にありがとうございました。

お茶大神輿

今年は第65回の記念の年でしたので、例年とは違った企画を用意したり、例年と同じ企画でもアレンジを施したり、来場者の方が各々徽音祭を楽しむように工夫しました。その結果、実行委員企画への参加者数が昨年と比較して大幅に伸び、中には倍増したものもありました。毎年足を運んでくださっている方には新鮮な発見のある、今年初めて来てくださった方には弾けるようなワクワク感が伝わる、そんな徽音祭だったのではないかと考えています。

来年からまた70回、80回と回数を重ねていっても、それぞれの年に思いのこもった徽音祭が

きあがることでしょう。これまでの徽音祭を大切にしながら、これからの徽音祭を磨いていってほしいなと思います。最後になりましたが、徽音祭を応援して下さるすべての皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。来年度の徽音祭も、お楽しみに!

第65回徽音祭実行委員長 備本 梨加

正門入口付近風景

水コン風景

キャンパスツアー